

2. 川原のようすと流水のはたらき

(1) 調べる場所

学校前の鮫川の川原

(2) 川原のレキや水の流れを観察する。

- ① 川原や水の流れなど川の全景をスケッチする。
- ② 川原や川底に散在するレキの大きさや形は、下流のものとは比べてどうちがうか。
- ③ レキの平らな面は、流れに対して、どのような向きになっているか、調べる。



- ④ レキには、どのような色をしたものがあるか集める。

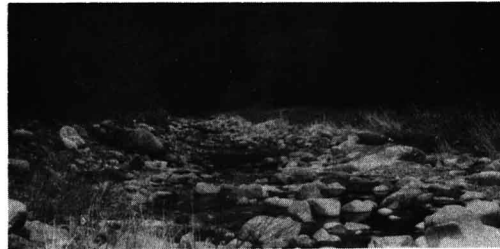
(3) 鮫川石についての説明

鮫川石は、従来、水石として庭石に利用されてきました。

多くは、緑色をして片理

(うすく割れやすい)をもった緑泥片岩のレキです。

他に、黒っぽいすじをもつ黒雲母片岩のレキもあります。この付近の川原から、数多くのレキが各家庭の庭石として運ばれています。



砂 泥 互 層

たい積岩の中に、単層の厚さが数10cm以内の、砂層と泥層が交互に重なりあっている露頭をよく観察します。

このような重なり方を互層といい、砂層と泥層とが互層しているものを砂泥互層といいます。



(永崎港)